

栄養の日・栄養週間 2017

寄付金募集趣意書
(改訂版)

主催:公益社団法人 日本栄養士会

「栄養の日・栄養週間 2017」 寄付金募集趣意書

1. 趣 旨 このたび、日本栄養士会では、8月4日を「栄養の日」、8月1日から7日を「栄養週間」と制定、平成29年度に制定を記念する各種イベントを実施することといたしました。

いま日本では、超高齢・少子社会を迎えており、国ではこれらに対する施策を検討、展開しています。また、国民だれもが、健やかな生活を願っており、厚生労働省の「健康意識に関する調査(2014年)」においても、「このために注意することは日々の食生活」と答える方が多数を占めています。食・栄養の専門職である「管理栄養士・栄養士」によって構成される日本栄養士会では、このような社会を踏まえて、「栄養の日・栄養週間」を創設、国民の食・栄養の課題を解決するための運動を展開することといたします。

わが国の食・栄養課題は、超高齢・少子社会を背景に、地域や個人の単位で多様化しています。戦後しばらくは、食料事情の悪さから、低栄養への対応が主でした。高度経済成長を迎え食料問題が解決を迎えると、食の欧米化、食の過剰摂取による生活習慣病の時代を迎えました。そして近年では、その過栄養の中でも特に中年男性の肥満が、一方では、高齢者の低栄養と若年女性のやせの問題が顕著となっています。また、今日の日本では、食に関するさまざまな情報があふれ、各種メディア、インターネットなどの偏った情報に苦慮する消費者は少なくありません。日本栄養士会は、現代の多様化する食・栄養課題に対して、エビデンスに基づいた正しい情報を発信し、人々の適切な食生活の実現に努めます。国民の健康・福祉の向上を図り、社会活動の充実に努めます。食卓に笑顔があふれ、健全な心身を育み、そして一人ひとりが自己実現を叶える、元気な未来の日本をつくります。「栄養の日・栄養週間 2017」では、これらを宣言するとともに、管理栄養士・栄養士の活動の場で国民運動として推進していきます。

2. 主 催 公益社団法人 日本栄養士会、47 都道府県栄養士会

3. 共 催 (予定)
一般社団法人全国栄養士養成施設協会

4. 後 援 (予定)
厚生労働省他関係省庁申請中、その他関連学会、関連団体

5. 期 間 平成29年8月1日(火)～7日(月)

6. 実施企画

- ・Web サイト特設ページ
- ・PR イベント
- ・全国活動先および47都道府県栄養士会イベント
- ・第1回栄養の日記念式典
- ・全国栄養士大会

7. 開催場所

- Web サイト特設ページ
日本栄養士会ホームページ(www.dietitian.or.jp)
日本栄養士会「NU+(ニュータス)」(www.nutas.jp)
- PR イベント
GINZA PLACE common ginza
- 全国活動先および 47 都道府県栄養士会イベント
各管理栄養士・栄養士活動先(1,000 か所程度)、47 都道府県栄養士会各イベント会場
- 第 1 回栄養の日記念式典(パシフィコ横浜)
- 全国栄養士大会(パシフィコ横浜)

8. 「栄養の日・栄養週間 2017」の概要

(1) 構成

- Web サイト特設ページ
「日本栄養士会ホームページ:www.dietitian.or.jp」(管理栄養士・栄養士向け)と、「NU+(ニュータス):www.nutas.jp」(国民向け)と連動した特設ページを公開します。特設ページでは、PR イベント、全国活動先および 47 都道府県栄養士会イベント等、栄養の日・栄養週間に関連した記事を掲載します。
- PR イベント
栄養の日・栄養週間の記念イベントとして、メディアを招致する PR イベントを行います。PR イベントでは、「84 セレクション」として、活躍した管理栄養士・栄養士の活動を称える表彰と、「Better Life Award」として、「健康で充実したライフスタイル」を送る著名人の表彰、両受賞者のトークセッションを行います。
招致メディア:約 50 名、(TV・中央誌・専門誌・WEB・一部地方紙等)
露出メディア:新聞・雑誌 50 媒体、TV4 媒体、WEB250 媒体を予定
- 全国活動先および 47 都道府県栄養士会イベント
管理栄養士・栄養士の現場(医療施設、介護福祉施設、事業所の給食施設を中心に約 1,000 か所想定)で国民 10 万人を対象に、国民向けパンフレットの配布、サンプリングまたはイベントメニューの提供等、栄養の重要性と管理栄養士・栄養士の職能認知・普及を目的とした全国イベントを行います。また、他施設と 47 都道府県栄養士会でも、施設利用者および地域住民を対象に、地域の健康課題に根付いた活動を行います。
- 第 1 回栄養の日記念式典
高田宮家憲仁親王妃久子殿下のお言葉をいただくと共に、来賓をお招きし、第 1 回栄養の日を記念して式典を開催します。式典では、厚生労働大臣表彰、(公社)日本栄養士会表彰を執り行います。
- 全国栄養士大会
国立健康・栄養研究所(K)、日本栄養士会(N)、神奈川県立保健福祉大学(K)の合同プロジェクト(KNK プロジェクト)として、今後の管理栄養士・栄養士のビジョン実現のために必要なエビデンスを定義し、全国の管理栄養士・栄養士が一堂に会した大会で情報提供を行います。2017 年は「国民に寄り添う管理栄養士・栄養士の姿」と題して開催します。
会議構成 : 鼎談、講演・シンポジウム
併催展示会 : テーマ“食品、栄養業界における新製品と最新サービス”

(2) テーマ:「栄養ワンダー Presentation of Nutrition 2017」

(3) 日程表(予定)

6月1日(木)～8月31日(木)	: Web サイト特設ページ展開
8月2日(木)	: PR イベント
8月1日(火)～7日(月)	: 全国活動先および47都道府県栄養士会イベント
8月6日(日)・7日(月)	: 全国栄養士大会

(4) 参加予定者数(概数)

- ・全国活動先および47都道府県栄養士会イベント:
管理栄養士・栄養士5万人(会員数)、国民10万人(活動先イベント1,000カ所の対象者)
- ・第1回栄養の日記念式典:
管理栄養士・栄養士、被表彰者 1,000人
- ・全国栄養士大会:
管理栄養士・栄養士1,000人、管理栄養士・栄養士養成施設の学生300人、計1,300人

9. 寄付金について

「寄付金募集要項」参照

10. 寄付金の使途

「栄養の日・栄養週間2017」の各種イベントにかかる運営経費

11. 税法上取扱い

税法上の優遇措置として、「所得税控除制度(所得税額算出の基礎となる所得金額から控除額を差し引く方法)」が受けることができます。

寄付金による控除を受けるには、ご寄付された翌年の確定申告期間に、所轄税務署で確定申告を行ってください。

12. 領収証について

郵便振替払込票の半券をもって、領収証にかえさせていただきます。

寄付金募集要項

1. 寄付金の名称

「栄養の日・栄養週間 2017」寄付金

2. 寄付金

1,000 円以上でお願いします。

3. 寄付金受付期間

平成 29 年 6 月 1 日(木)から平成 29 年 8 月 31 日(木)

4. お振込先

金融機関 ゆうちょ銀行

口座番号 00130-9-514685

加入者名 「栄養の日・栄養週間 2017」寄付金

エイヨウノヒ エイヨウシュウカンニセンジュウナナ キフキン

加入者払込店・払出店 芝店

※他行等からの振込の受取口座として利用される場合は、下記口座までお願いします。

店名 0一九(ゼロイチキユウ)店(019) 当座 0514685

5. 寄付金についてのお問い合わせ

(公社) 日本栄養士会 「栄養の日・栄養週間 2017」寄付金係

〒105-0004 東京都港区新橋 5-13-5 新橋 MCVビル6F

Tel: 03-5425-6555 Fax: 03-5425-6554